



令和7年度 全国学力・学習状況調査分析結果と改善方法

小美玉市立竹原小学校

児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるため、6年生を対象に全国学力・学習状況調査を行いました。調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

国語	
分野	【書くこと】
問題の概要・趣旨	《概要》 【ちらし】の二重傍線部を、【調べたこと】を基に詳しく書く。 《趣旨》 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
問題文	物を包む使い方 手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。 物を包む使い方 手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。 【調べたこと】 《本を読んで分かったこと》 ○ブックカバー ・何回か折るだけで、すぐに完成する。 ・本の大きさに合わせて包むことができる。 ○ペットボトルカバー ・ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。 《使ってみて分かったこと》 ○ブックカバー ・よごれがつくのを防ぐことができるようになった。 ・落としたときに、本がきずつかなかった。 ○ペットボトルカバー ・水が植物につかなくてよかった。 ・温かい飲み物が冷めにくかった。 三山田さんは「ちらし」の書き表し方について友達に相談し、「ちらし」のほうがよく考えた。次の「調べたこと」を見直しました。あなたが山田さんなら、どのように書き直しますか。おどの条件に合わせて書きましょう。 【ちらし】 手ぬぐい 手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。そのよさは、どのようなものなのでしょう。 よさ1 もよう さまざまなよさがあり、さまざまなよさを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。 季節を感じるもよう 手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたものがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。 しゅみやすきなものに合わせたもよう スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のこのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。 よさ2 使い方 手などをふくだけでなく、身にかけたり、物を包んだりすることもできます。 身に増える使い方 あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。 物を包む使い方 手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。 このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。
誤答例・課題	誤答例の多くは、条件の2つ目「【本を読んで分かったこと】【使ってみて分かったこと】のそれぞれから言葉や文を取り上げる」という条件を満たしていないものだった。複数の条件が存在し、読み取る情報も多いため、一つ一つ整理して書くことが求められる問題であるが、大切な言葉や文に十分着目することができていなかったと考えられる。
改善方法	・国語の学習では、説明文を扱う際には大切な言葉、文に線を引かせたり、抜き出したりする活動を行っている。今後もその活動とともに、抜き出した語句や文を使って制限字数で自分の考えを書いたり、推敲したりする活動を取り入れていく。 ・発達段階に応じて、様々な条件を提示した条件作文の活動を充実させる。字数だけでなく、複数のキーワードを入れて書いたり、資料から読み取ったことを入れて書いたりする時間を確保し、児童が目的や意図に応じて工夫して書けるようにする。

算数	
分野	【式と計算】
問題の概要・趣旨	《概要》 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$について、共通する単位分数と$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$が、共通する単位分数のいくつ分になるかを書く。 《趣旨》 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数のいくつ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。
問題文	(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。 まず、みおりさんは、$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$についてまとめています。  $\frac{2}{5}$は$\frac{1}{5}$の2個分、$\frac{1}{5}$は$\frac{1}{5}$の1個分です。 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$の計算は、$\frac{1}{5}$をもとにすると、2+1を使って考えることができます。 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$は、もとにする数を$\frac{1}{5}$にすると、整数のたし算を使って計算することができます。 次に、ひろとさんは、$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$について考えています。  $\frac{3}{4}$は$\frac{1}{4}$の3個分、$\frac{2}{3}$は$\frac{1}{3}$の2個分です。 もとにする数が$\frac{1}{4}$と$\frac{1}{3}$でちがうので、同じ数にしたいです。 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。 もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、$\frac{3}{4}$はその数の何個分、$\frac{2}{3}$はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。
誤答例・課題	まず「もとにする数」を答え、次に$\frac{3}{4}$と$\frac{2}{3}$はそのもとにする数の「いくつ分」かを答えるという、答え方が二段階の構成になっている。この問題では$\frac{1}{12}$がもとにする数であるが、それが答えられない児童、また、そこが答えられても、「$\frac{3}{4}$はそれが9個分」と答えられず、「$\frac{9}{12}$個分」と答えてしまった児童が多くみられた。
改善方法	・問われていること、答えるべきことに正対するよう、普段の学習から問題文に線を引き、式や答えだけでなく、自分の考えを文章で書く活動の時間をしっかり確保する。 ・分数の加法・減法を扱う際には、通分の方法の習得だけでなく、答えを出したとき、それが何をもとにしているのか、何がいくつ分なのか、図や数直線、言葉等で説明できるようにしていく。

理科	
分野	【「生命」を柱とする領域】
問題の概要・趣旨	《概要》 レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気づきをもとに、見いだした問題について書く。 《趣旨》 レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点をもとに、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかをみる。
問題文	たかひろさんたちは、レタスの種子を発芽させようとしています。  たかひろ レタスの種子を発芽させようと思って、水、空気、温度の条件を下のようにしたのに、1つも発芽しなかったよ。 たかひろさんが行った実験  しめらせた だっし綿 〈条件〉 ・水あり ・空気あり（種子が空気にふれている） ・温度（室温） ・日光なし（箱をかぶせている） ・肥料なし 水、空気、温度のほかに、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるのかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、上の〈条件〉の中から1つ選んで調べてみたい。  てるみ (4) てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけました。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。
誤答例・課題	問題は、「てるみさんがどんな『問題』を見つけたか」ということなので、答えの書き方は「～なのだろうか」という疑問形の表記になる。児童の中にはその書き方が分からず、書くことができない児童が多かった。また、てるみさんの「〈条件〉の中から1つ選んで」という情報を入れず、「レタスの発芽には何が必要なのだろうか」と書いてしまった児童もみられた。条件を満たし、自ら問題（課題）を書くことができなかった児童が多かった。
改善方法	・理科の学習で、観察や実験結果をもとに振り返りをする時、児童から疑問に思ったこと、もっと調べてみたいことなどを発表させたり、書かせたりして、課題を児童主体で作り上げていく学習を進めていく。 ・国語や算数と同様に、問われていること、条件、答えるべきことを、理科の学習においても児童に確認させ、児童が書く時間を授業で確保していく：@：